

主催 ● 「なくそう！ 子どもの貧困」全国ネットワーク
子どもの貧困を考える連続セミナー
第1回

こどもの里の実践に学ぶ

「大阪市子どもの家事業」廃止案を問う

講師 ● 荘保共子さん／大阪市西成区・こどもの里館長

2012年7月15日(日) 14:00～16:00

資料代:500円(可能な方より) 定員48人(定員になりしだい締め切ります)

立教大学池袋キャンパス5号館 第1・2会議室

池袋駅西口より 徒歩約13分

〈こどもの里とは〉

1977年、大阪市西成区・通称「釜ヶ崎」の子どもたちに健全で自由な遊び場を提供したいとの思いから、学童保育所「子どもの広場」としてスタート。子どものニーズに合わせて少しずつ形を変えていき、現在は、0～18歳の子どもたちの無料の遊びの場である「大阪市子どもの家事業」とともに、20年間の緊急一時保護・生活の場の提供の実績により「小規模住居型児童養育事業」(こどもの里ファミリーホーム)を展開しています。放課後の子どもたちの行き場だけでなく、生活の場としてのニーズがますます高まり、24時間フル回転しています。

〈事前申し込みが必要です〉

参加ご希望の方は、件名に【第1回連続セミナー申し込み】と明記し、①お名前、②お立場・ご所属、③お住まいの都道府県、④電話番号をご記入のうえ、7月14日(土)までに代表メール宛てお申し込みください。

mail@end-childpoverty.jp

■問い合わせ・当日連絡先
080-1158-3494

特に参加票は発行いたしませんので、当日会場にて受付・資料代のお支払いをお願いいたします。